

四国アライアンス・四国ツーリズム創造機構共催 「A T（四国遍路×サイクリング）ワークショップ」を開催

（ブランディング）

四国の第一地方銀行による連携組織「四国アライアンス」と当機構の共催により、標題のワークショップを11月1日～2日に開催しました。

同アライアンスの観光分科会では、四国ならではの観光の可能性や効果的な発信方法を検討しております。今回は観光庁の専門家派遣事業を活用し、「飛騨里山サイクリング」プログラムなどインバウンドへのサイクルツーリズムに関する知見を持つ、株式会社美ら地球（ちゅらぼし）の代表取締役である山田拓氏を招請しました。

ワークショップは生憎の雨模様となったものの、高知県香南市エリアの観光スポットを巡り、外国語対応や高付加価値化の可能性を探った後、意見交換を行いました。

また、山田氏から飛騨を例に、実際のガイドツアーやインバウンドのニーズに関する所感、地域の持続可能性を踏まえたデータに基づくプロモーションの必要性についての基調講演をいただきました。ワークショップを通じて得た内容を四国アライアンスや当機構での活動に活かしていくことを共有する機会となりました。

（ワークショップ実施日）

2022年11月1日（火）、2日（水）

（機構参加者）

坂本マネジャー、竹本マネジャー



大日寺での写経体験



山田氏によるフィードバック

「四国周遊型ワーケーション推進協議会」での受入地の視察

（ブランディング）

「四国周遊型ワーケーション推進協議会」（以下、協議会）では、今年度事業として、協議会の会員である受入地の視察と交流を通じたワーケーションに関する意識啓発、知見拡大を目的に、徳島県三好市において、「（一社）三好みらい創造推進協議会」の全面協力の下、11月7～8日に受入地の視察を実施しました。

初日には、三好市の中山間地の元小学校をリノベーションして、企業の研修やチームビルディングに対応したワーケーションの受け皿となる中核施設「ウマバ・スクールコテージ」の視察後、意見交換会を開催いたしました。

翌8日には、三好市での短期（1か月）～中長期（1年未満）のお試し滞在受け入れのため新たに整備された「リモートワーク対応型住宅」（計9棟）を視察し、次いで築100年超の古民家をリニューアルした地域の交流拠点「真鍋屋（M I N D E）」を訪問いたしました。三好みらい創造推進協議会の丸浦代表理事によると、上記施設の整備に伴い、複数企業の実証実験プロジェクトを受け入れるなど、地域活性化に結び付く事例も生まれているとのことでした。

○ ワーケーション受入地の視察概要

（実施エリア／受入地会員）

徳島県三好市／（一社）三好みらい創造推進協議会

（実施日程）

2022年11月7日（月）、8日（火）

(参加した協議会団体)

新野シームレス民泊推進協議会、小豆島観光戦略会議、(株)ソラヤマいしづち、
(一社)幡多広域観光協議会、日本航空株式会社、四国旅客鉄道(株)などから計14名
(機構出席者) 半井代表理事、漆原統括副本部長、安藤副本部長、坂本マネジャー



三好市での短期(1か月)～中長期(1年未満)の滞在を受け入れるために整備された「リモートワーク対応住宅」の視察



築100年以上の古民家をリノベーションした地域交流拠点「真鍋屋(MINDE)」の視察

「四国の観光ビジョン」について四国内DMOとの意見交換会を開催

(ブランディング)

四国経済連合会と四国アライアンスとともに、四国の観光ビジョンにおける「事業者間のネットワークづくり」の一環として、昨年に引き続き四国内のDMO訪問を行いました。

意見交換会では、各DMOから中長期施策、重点施策や課題が、3団体からは観光ビジョンを踏まえた活動についての情報提供があり、双方から質問や要望について意見交換されました。

当機構では、2025年度に向けた観光ビジョンの実現に向け、域内DMOや関連事業者・組織間での戦略、課題等の情報共有・共同事業の計画策定及び実行を行ってまいります。

DMO訪問日・訪問団体

2022年10月17日(月)、18日(火)	:(高知)	(一社) 幡多広域観光協議会 (一社) 仁淀ブルー観光協議会
2022年11月8日(火)、9日(水)	:(徳島)	(一社) そらの郷 (一社) イーストとくしま観光推進機構
2022年11月15日(火)	:(香川)	(公社) 香川県観光協会 (一社) 丸亀市観光協会
2022年11月29日(火)、30日(水)	:(愛媛)	(一社) 愛媛県観光物産協会 (一社) キタ・マネジメント (一社) しまなみジャパン



意見交換会の様子(高知:幡多広域観光協議会(左)、愛媛:キタマネジメント(右))

四国「持続可能な観光」推進ネットワーク第2回会議を開催

(ブランディング)

7月29日に設立した四国「持続可能な観光」推進ネットワークの第2回会議を11月22日にオンラインとリアルハイブリット形式で開催しました。

会議では、冒頭に小豆島町と大洲市が「2022年版 世界の持続可能な観光地TOP100」に選出されたポイントや評価された内容について担当者から解説をいただきました。

その後、今年度の事業の進捗報告やネットワーク会員の来年度の取組み内容等について確認を行ったほか、ネットワークの来年度の事業方針を会員間で共有し、来年度以降の国際表彰へのエントリー方針や今年度実施したGSTC公式トレーニングを終えた地域の状況等について、活発な意見交換を行いました。

(開催日時) 2022年11月22日(火) 13:00~15:30

(開催場所) 情報通信交流館e-とぴあかがわ(オンラインとのハイブリット形式)

(参加者) 20人(15地域)

(機構出席者) 桑村本部長、木本チームマネジャー、竹本マネジャー

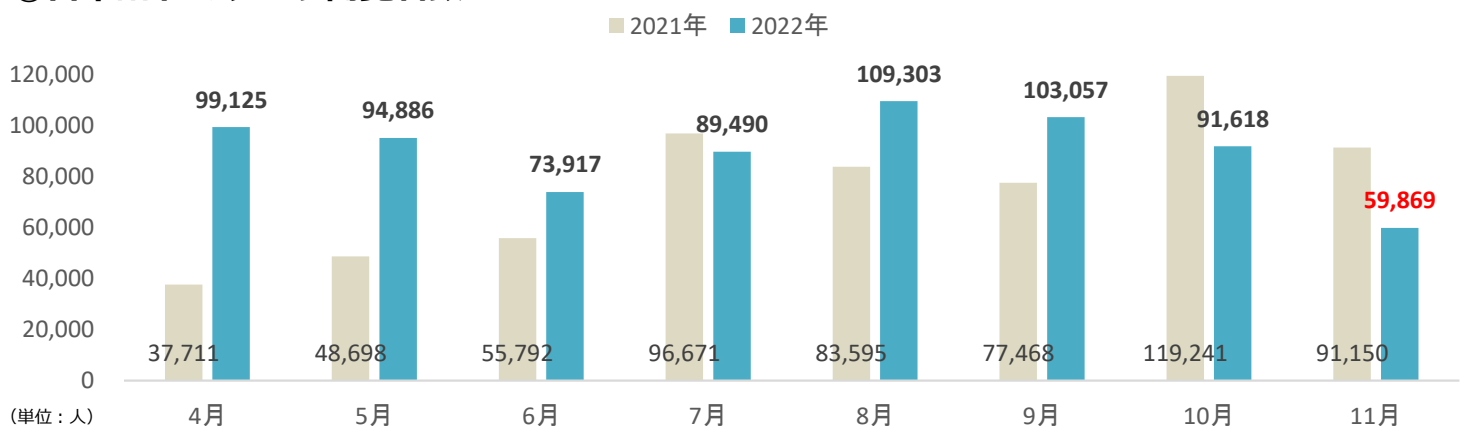


今月のオウンドメディア情報等

(清水CMOからの情報)

①日本語ホームページ閲覧者数

(①②ともにGoogle Analytics)

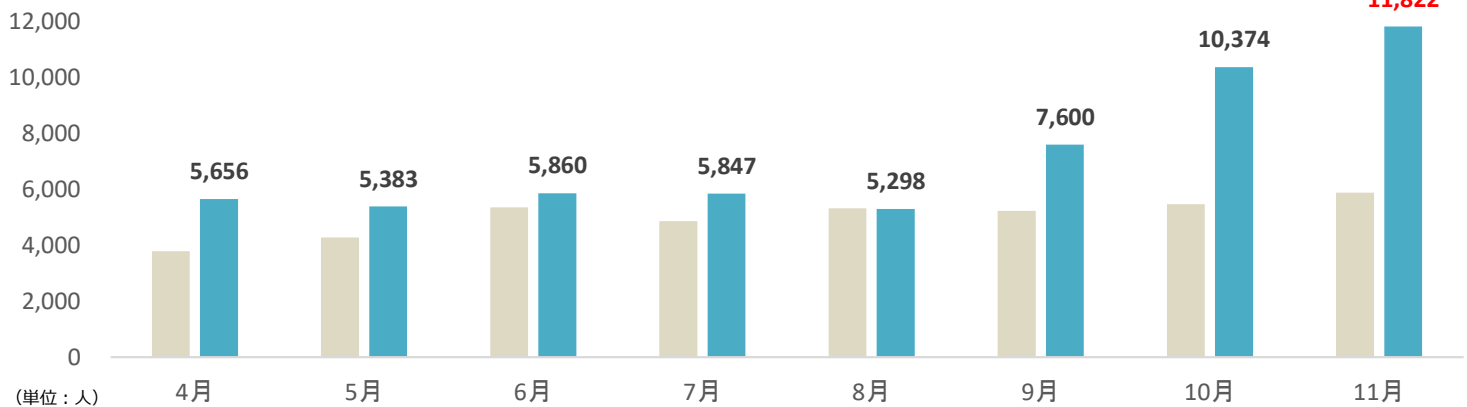


①2022年11月の日本語ホームページ閲覧者数は59,869人と前年同月と較べて減少しています。
昨年実施していた四国デスティネーションキャンペーンで実施していた広告配信による影響が考えられます。
広告配信を実施していた東京都、大阪府の減少が顕著でした。

次ページに続く→

②多言語ホームページ閲覧者数

■ 2021年多言語計 ■ 2022年多言語計



②2022年11月の英語、繁体字、簡体字、フランス、韓国語から成る多言語ホームページの閲覧者数は、前月同様大幅に増加しました。
特に繁体字圏の増加が昨年同月比286%と顕著でした。

③前述②の繁体字閲覧者数を底上げする直接的な影響とはいえませんが、2023年1月19日の高松－台北線運航再開で、四国へのインバウンド誘客に台湾市場は大きく期待できる市場と言えます。
そこで、台湾旅行会社で台北に拠点を置く大手旅行会社が高松空港 in out での旅行商品販売状況を確認しました。

※赤字をクリックするとツアーの該当ページに遷移します。

■東南旅行社（従業員：1,500名）

・6泊7日、四国4県周遊ツアー、最終日にイオンモールでショッピング

■雄獅旅行社（従業員：2,600名）

・4泊5日、香川→愛媛→徳島周遊ツアー

・5泊6日、関空 in out のツアーでは、徳島県DMV、高知県梼原町図書館など、新スポット有。（写真上）

■康福旅行社（従業員：1,900名）

・4泊5日、四国4県周遊ツアー、8月オープン高松市屋島山上交流拠点施設「やしまーる」有。（写真下）

■山富国際旅行社（従業員：700名）

【概要】

・4泊5日、四国4県周遊ツアー

・高松空港 in 関西国際空港 outのツアーも確認できました。

四国への安定的な送客を可能にするパッケージツアーを販売いただき、
また、新しい観光スポットも旅程に組み込んでいただける現地旅行会社は重要であると感じます。
今後も、当機構では、商談会やセールスなど B to B 施策も加味し、誘客施策に取り組んでまいります。



梼原町立図書館（雲の上の図書館）



「やしまーる」

「東アジア向けインバウンド商談会in四国2022」を開催

(マーケティング)

新型コロナウイルス感染症の収束後に、四国への来訪が回復する見込みが早い「東アジア市場」をターゲットに、在日のランドオペレーターやOTA、日本国内に支店がある海外の旅行エージェントを対象に招請し、インバウンド商談会を開催いたしました。

招請者については、OTA 3社を含む16社で、四国側の参加者は、ホテル、旅館、観光施設、交通事業者等の観光関連・運輸事業者、観光協会等で合計44社にご参加いただきました。

現在、アンケートを集約中ですが、16社中12社14名の回答があり、商談会の満足度は14人中10人が「大変有意義」、4人が「有意義」とご回答いただきました。

今後、四国に関連する商品を造成予定の12社のうち、2社は今回の商談会を通じて商品の造成を決めたと回答がありました。

また、招請者側のニーズとして、次年度以降の商談会の対象市場を質問したところ、1位が東アジアの11人、次いで6人が東南アジアを希望されていました。

今回は東アジアに特化した商談会でしたが、現時点で回答されている招請者の約半数が東南アジア市場を希望されており、東南アジア市場を対象とした商談会のニーズも推察されました。

【実施概要】

(名 称) 東アジアインバウンド商談会in四国2022
 (日 時) 2022年11月2日(火) 13:00~18:00
 (会 場) 高松シンボルタワー ホール棟1階 展示場
 (参加者) 60社
 出展事業者：16社
 四国内観光関連事業者：44社・団体
 (機構担当者) 桑村本部長、佐藤チームマネジャー、
 中村マネジャー、清水CMO



商談会の様子

「四国の文化・アクティビティ商品流通環境整備事業」 におけるモニターツアーを開催

(マーケティング)

広域周遊観光促進のための観光地域支援事業の補助金を活用して実施する「四国の文化・アクティビティ商品流通環境整備事業」の一環として、モニターツアーを11月5日～9日に実施いたしました。

昨年、ロンリープラネット社の旅行ガイドブックの「Best in Travel 2022」の本文で取り上げられた観光地のうち、ゼロ・ウェイスト宣言の「上勝町」、四国お遍路、道後温泉、祖谷地区、アドベンチャートラベルの切り口から「しまなみサイクリング」で実施しました。

ロンリープラネットの視点で覗いてみると、新たな付加価値を生み出すためのコンテンツの開発や磨き上げがしっかりとできることが感じられるモニターツアーでした。

モニター参加者①



Todd Fong

アメリカ合衆国カリフォルニア州出身。2014年に日本に移住し、ライター兼フォトグラファーとして活躍。(株)IGLOOOのクリエイティブチームを率い、同社運営のメディア「VOYAPON」の共同編集長を務める。またロンリープラネットのトラベルライター(Experience Japan, 2022)として活躍しているほか、着物のポートレートに特化した写真集を複数出版している。Metropolis Japan, Tokyo Weekender, Stars and Stripes Japan, MATCHA, Visit Kyushu や Setouchi Reflection Tripをはじめとする自治体公式サイトなど、オンラインメディアへの寄稿実績も豊富。



モニター参加者②



David McElhinney

英国・北アイルランド出身・東京在住のジャーナリスト。アウトドア・旅行やスポーツ関連の記事を主に執筆しています。2019年のラグビーワールドカップでは米国大手スポーツメディアThe Runner Sportsの取材記事を担当し、TOKYO2020ではアイルランドのニュースチャンネルのポッドキャストも担当。主な寄稿メディアはTokyo Weekender, The Japan Times, Lonely Planet, The Independent, The Irish Independent, CNN Travel, Business Insider, Intrepid Times, Matador Networkです。

(機構参加者)

2022年11月5日(土)、6日(日)：中村マネジャー、
2022年11月7日(月)～9日(水)

：佐藤チームマネジャー



「ロンリープラネット」Jim氏による インバウンドセミナーの開催及びFAMツアーを実施

(マーケティング)

11月18日、世界的に有名な旅行ガイドブック「ロンリープラネット」の常務取締役であるJim Brody氏をお招きして、「ロンリープラネット常務取締役が語る！戦略的インバウンドプロモーションとは」と題して、セミナーを実施しました。

セミナーでは、デジタルマーケティングに重点が置かれ、「翻訳はソフトを用いるのではなく、ネイティブスピーカーの活用が必須であること」「世代ごとに用いるツールが異なるため、様々なメディアを活用すべきであること」といった話がありました。

セミナー終了後、日程の関係上、四国のごく一部のエリアとなりましたが、善通寺、琴平、雲辺寺、祖谷を周っていただきました。「善通寺での戒壇回りでは、暗闇の中、寺院の地下を歩くのはとても興味深く、その場所から信じられないような感覚を得ました。祖谷のかずら橋では、祖谷の自然全体がとても美しい。東京で見ることができない素晴らしいです。都会と自然の対称性が信じられない程素晴らしい。」など、各訪問地ごとにコメントがありました。



(セミナー開催日時) 2022年11月18日(金)

13:00～14:30

(セミナー開催場所) 高松シンボルタワー タワー棟6F

高松国際会議場

(セミナー参加者) 42名

(機構参加者) 半井代表理事、桑村本部長他



2022年度第2回インバウンド担当課室長会議を開催

(マーケティング)

11月28日、高松センタービルでインバウンド担当課室長会議を開催しました。

会議では、当機構の2022年度事業の進捗報告を行った後、四国4県やJR四国の皆様から今年度事業の実施状況について情報共有いただき、今後のインバウンド誘客に向けた意見交換を実施しました。また、次年度に大きく内容の変わる観光庁のインバウンド向け補助金について、当機構の進め方を4県にご了承いただきました。

新型コロナウイルス感染症の第8波により見通しの立てづらい状況ではありますが、今後も関係者の皆様と密に連携しながら事業を実施してまいります。



(実施日／実施場所) 2022年11月28日 (月)

/高松センタービル 11階 会議室

(機構参加者) 桑村本部長、漆原統括副本部長、佐藤チームマネジャー他5名

「四国現地研修（香川・愛媛地区）」を実施

(マーケティング)

四国向け商品の造成、また四国への送客を図るべく、北九州・山陽エリアの旅行会社を招待し、香川・愛媛地区の観光素材を視察する四国現地研修を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの実施となりましたが、10社・16名が参加され、各視察箇所では、ガイドや県職員が説明しました。

香川地区では、屋島や栗林公園を視察し、その歴史に触れたほか、昼食にはうどんをご賞味いただきました。

愛媛地区では、道後温泉街や大洲の町並みを視察したほか、リニューアルした伊予灘ものがたりに乗車しました。また、懇親会も開催し、参加者の皆様同士で情報や意見交換を含め、親睦を深めていただきました。

四国の一部ではありますが、その魅力を体感いただいたことで、四国への送客のきっかけとなることを期待しています。当機構も引き続き、四国の観光推進に向けて取り組んでまいります。

していきます。

(実施日／実施場所) 2022年11月9 (水) ～11日 (金)

/香川地区視察：四国村、屋島、栗林公園

愛媛地区視察：マイントピア別子、道後温泉街、伊予灘ものがたり、

祖予大洲の町並み、臥龍山荘、南楽園

(機構参加者) 谷本マネジャー、中村マネジャー（香川地区）、竹本マネジャー（愛媛地区）



四国村



栗林公園



マイントピア別子



道後温泉街

2022年度JATAオンラインセミナー

(その他)

国内旅行需要の回復に取り組むために、日本旅行業協会（JATA）国内旅行推進部主催の旅行会社向けのセミナーが開催されました。

各地域の最新観光情報をJATA会員へ周知するため、四国4県と四国旅客鉄道様の旬な情報を90分に渡って、オンラインにて説明を行いました。

当日は100名を超える全国の旅行会社の方に聴講いただきました。



オンライン説明の様子

(日時/場所) 2022年11月1日（火）/四国ツーリズム創造機構 会議室
(機構プレゼン者) 桑村本部長

足摺宇和海国立公園 指定50周年記念式典

(その他)

1955年に足摺国立公園として誕生し、宇和海地域や海中公園地区の追加指定を経て、1972年に足摺宇和海国立公園となり、今年で国立公園指定50周年を迎えました。50周年の節目の年にあたり、記念式典が開催されました。当機構は、環境省と国立公園オフィシャルパートナーシップを締結しており、魅力発信や認知度向上に引き続き取り組んでいきます。

(日時/場所) 2022年11月12日（土）
/高知県土佐清水市 中央公民館
(機構参加者) 桑村本部長



第5回 四国圏域生態系ネットワーク推進協議会

(その他)

2018年2月に設立された四国圏域生態系ネットワークは、翌2019年2月に「四国圏域生態系ネットワーク全体構想」を策定・公表しました。また、吉野川流域、四万十川流域で生態系ネットワーク形成を検討、推進する協議会が設立されています。

2021年度に、吉野川流域の協議会は、那賀川流域を含む徳島県全体に拡大した協議会へ発展移行しました。

今回、第5回目の会議では、四国各地での取り組みの共有、意見交換が行われました。

開催地の四万十市では、四国地方整備局の中村河川国道事務所を中心に『ツルの里づくり』が実施されており、河川の連続性の確保や湿地環境の再生・創出に取り組まれています。

当機構は、協議会メンバーとして、生態系ネットワークを持続可能な観光への取り組みの1つとして、協力していきます。



(日時/場所) 2022年11月24日(木) /視察：高知県四万十市 四万十川流域
11月25日(金) /会議：高知県四万十市 四万十市社会福祉センター
(機構参加者) 桑村本部長

後援・協賛等

(その他)

事業名	期間	備考(公式サイト等)
ミュージカル「ジョン マイ ラブ ～ジョン万次郎と鉄の7年」	2021年9月2日(木) ～2023年3月 予定	http://www.botchan.co.jp/index.php (坊ちゃん劇場HP)
ミュージアム88カードラリーin四国	2021年10月1日(金) ～2023年9月30日(土)	http://www.museum88.com/index.php
えひめ南予きずな博	2022年4月24日(日) ～2022年12月25日(日)	https://kizunahaku.com/
四国活性化プロジェクト2022	2022年10月～2023年3月	https://www.shikokupj.com/
四国カメラ部写真展	2022年12月25日(日) ～2023年1月3日(火)	https://tosa-okyaku.com/
土佐の「おきゃく」2023	2023年3月4日(土) ～2023年3月14日(日)	https://tosa-okyaku.com/
ミュージカル「坊ちゃん劇場版KANO」(仮)	2023年4月1日(土) ～2024年3月 予定	—

代表理事の主な動静

- 1日（火） 推進会議（当機構の会議）
- 17日（木） 定例会議（当機構の会議）
- 18日（金） ロンリープラネット記者会見（香川）

11月以降の主な予定表

区分	12月	1月	2月	3月	4月	5月
マーケ ティング (国内)	ANA誘游四国キャンペーン（10月1日～3月31日）					
マーケ ティング (国際)		台湾セールスコール （1月10～14日/台北・高雄）				
ブラン ディング	四国周遊型ワーケーション推進協議会モニターツアー （12月15～17日/愛媛県松山市道後地区） 第3回意見交換会 （12月22日/香川）					

（一社）四国ツーリズム創造機構

事業推進本部 ブランディングチーム 安藤、松本

TEL：087-813-0431 FAX：087-813-0312

Facebook <https://www.facebook.com/t.shikoku>

Instagram <https://www.instagram.com/shikokutourism/?hl=ja>



SHIKOKUTOURISM